

地域・家庭・学校を楽しく、温かくつなぐ「おやじの会」の推進

光市立浅江小 PTA

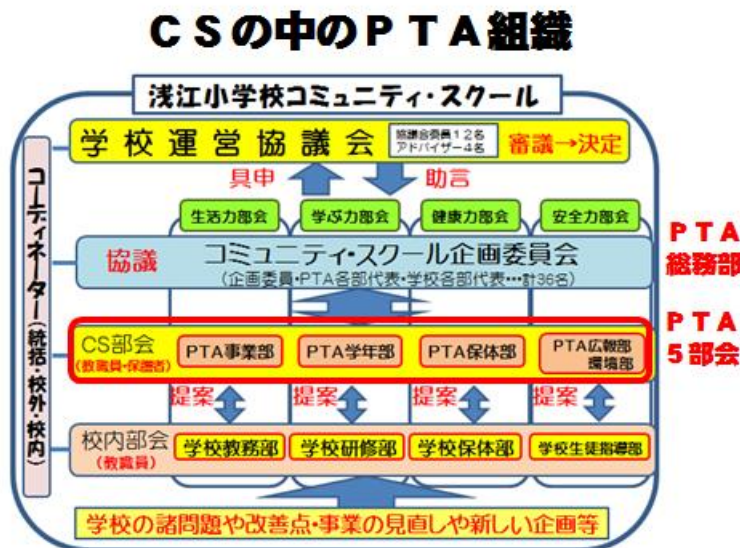
1 学校地域の概要

浅江小学校は、創立が明治6年で143目の学校である。昭和27年に現在地に移転した。児童数は昭和50年代に1,600人を超える児童がいたが、現在の児童数は764名である。もともと光市周辺の新興住宅街として人口が増加した地域である。近年は、この人数よりも少なくなった時期もあったが、学校周辺に新たに住宅地が造成されたり、マンションが建ったりするなど少し増加傾向である。

地域は「浅江コミュニティ協議会」を中心に、地域活動が活発なところである。平成26年に浅江小学校が「コミュニティ・スクール」(以下CS)の指定を受け、学校と地域のつながりがさらに深くなっている。

地域が学校に寄せる思いや願いは大変強い。CSの指定を受ける前から地域から多くの学校支援を受けている。CSが始まり、学校を中心とした地域活性化を推進している。地域・学校・家庭が協働して子育て、そして地域活性をめざしているところである。

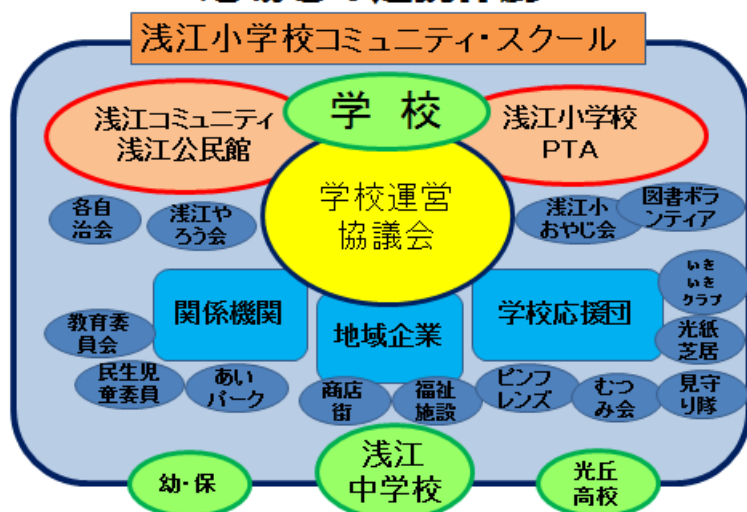
2 PTA (育友会他) の組織図



今年度から、PTA組織をCSの中で、地域と学校、PTAが連動するように改編した。横だけでなく、縦でしっかりと協議をつなげていくことをねらっている。

PTA組織は、中核である総務部(14名)広報部(10名)、そして各学年4名の事業部、学年部、保体部、環境部があり、総勢120名の役員が活動している。

地域との連携体制



学校は多くの関係機関や団体と関わっている。家庭を地域や学校につないでいく役目は、PTAの働きかけに大きく左右される。PTAは学校とはつながっているものの、まだまだPTAと地域に距離があると感じる。それらを円滑につないでいく役目が「浅江小おやじの会」にあると考えている。

3 研究テーマについて

地域・学校・家庭をつなぐことが、研究テーマの柱である。前途に述べたように地域からのアプローチは大きい、学校や家庭の対応が十分でないことが課題である。

平成26年にCSの指定を受けて、学校組織では、CS各部と校務分掌の縦のつながりの強化と教職員の参画意識の向上、そしてPTA組織でもCS各部とPTA各部の縦のつながりの強化とCSの周知徹底を推進している。

けれども学校は学習支援等を通して地域とのつながりを深めることができるが、PTAと地域がすぐに協働で活動する機会を設定することは難しい。そこでPTAと地域、そして学校を円滑につなぐ任意の団体として「浅江小おやじの会」の存在がクローズアップされている。

「浅江小おやじの会」は平成24年度に発足し、平成25年度に会則ができて正式に発足し、平成26年度から本格的に活動を実施している。最初は他の学校に同様に学校環境支援が主な活動であったが、親子の楽しい活動企画や地域行事支援などに活動が広がっていった。また会員同士のつながりも深まり、地域の行事等に参加して盛り上げようとする動きも出てくるようになった。

そこで研究テーマを、地域・家庭・学校を楽しく、温かくつなぐ「おやじの会」の推進とし、PTAと地域、そして学校を円滑につなぐ任意の団体として「浅江小おやじの会」を研究することにした。

4 活動内容

(1) 概要

① 「浅江小おやじの会」のこれまでの経緯

平成24年 PTAの男性会員（父親、祖父等）全員を「浅江小おやじの会」会員として発足

- 平成25年 会則をつくり、会員を募集して活動を本格的に始める。
- 平成26年 組織の引き継ぎ等がうまくいかず、一時活動が低迷したが、6月に新会長が決まり、新しいスタッフの活動が再開された。
- 平成27年 様々な活動が活性化し、また地域行事への参加や支援活動も始まり、地域とのつながりも深まるようになっていく。光市内の「おやじの会」のトップランナーとして注目されている。

② 組織構成

会長、副会長、会計、会員（各活動に実行委員長を置く）

※現在 保護者会員18名（Line登録者として）他にも活動参加者もいる
オブザーバー（CSコーディネーター）、学校教職員

③ 活動日

定例会・・・毎月第3金曜日 19時～ 浅江小学校CSルーム

活動・・・事前打合せ会、当日準備、活動、撤収、反省会の流れ

(2) 活動概要（平成27年度）

① 活動の3領域

ア 子の楽しい活動企画

（そーめん流し・肝試し、門松作り、餅つき、漢字検定等）

イ 域行事支援

（地域の祭りや行事に参加、バザーや運営支援等）

ウ 学校環境整備

（樹木の剪定、草刈り、ペンキ塗り、ライン補修、桜のライトアップ等）

② 月別活動状況（1年間の流れ）

4月

平成27年5月15日
浅江小学校おやじの会
会長 加賀美 和光

保護者の皆様へ

浅江小学校おやじの会のご案内

保護者の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。
浅江小学校おやじの会は浅江小学校の子ども達の健全な環境づくりの為に支援活動を行っております。
今年度もおやじの会会員の募集をしております。小学校はお子様の成長が目みえて感じられる場所です。その時間を共有しながら、子ども達の安全や一緒に楽しめる行事をおやじの方で支えていく活動をしていきます。（活動内容はこちらでも確認できます。http://asaeshooya.jimdo.com）
今年度も、本会の活動内容にご賛同いただける保護者のご参加をお願ひしております。【おやじの会】ですが、性別は問いません。子ども達と楽しい出作りをしてみませんか。
つきましては、申し込み用紙を下記にて添付しております。ご参加の程、お待ちしております。
なお、これまで会員の方も、新会員名簿作成のため、参加申込書をご提出ください。



懇親会風景



車道立ち入り禁止線ペン塗りの
できごと、できごとから始めてみませんか？
入会をお待ちしています。

平成26年度活動実施内容

- ・校内整備
- ・通学路の安全パトロール、
- ・潮音寺山まつりでの出店
- ・肝試し企画運営
- ・友愛セールでの出店
- ・そーめん流し企画運営
- ・7/17(株)の企画運営
- ・CS、PTAとの協賛活動
- ・光市(4)出展参加等

参加申込み用紙を切り取ってクラス担任の先生にお渡しください。
(きりとり線)

おやじの会参加申込書(新規・継続) ※○をしてください

浅江小学校おやじの会に参加します。

| | |
|-------------|---------|
| 入会者氏名(らりがな) | 児童名(長子) |
| | 年 組 |
| TEL | メールアドレス |

※常例、会員を募集しておりますが、5月末に「新会員名簿」を作成し、会員のみなさまにお知らせいたします。
※連絡はメール、ラインにて行っております。※特選連絡がとれる携帯メールアドレス等をご記入ください。
※記載いただいた情報は、浅江小学校おやじの会における連絡以外には使用しません。

4月に年度最初の定例会を開き、運営のための規約の確認と大まかな年間行事を協議した。

協議の中で大きな課題としてあがったのは、会員の確保であった。昨年度再構成したことで、12名の会員がいたが、活動の活性化のためにも会員募集が必要であるということになったので、早速チラシを配付し会員の募集を行った。数名の新規会員の名前があがり、一緒に活動することとなった。

5月



5月定例会

2回目の定例会は、新会員を迎えて、年間計画を立てて、活動内容を確認した。会長と副会長がまとめ役として、会員の中から各活動の実行委員長（2名程度）を選出して実践していくことになった。県PTA連合から助成事業の指定を受けることになった。

「潮音寺まつり」のバザー出店

地域の恒例行事に「フライドポテト」のバザーを出店した。大変好評であり、収益は学校に寄付した。また、まつりの前日準備や片付けなどにも積極的に参加し、地域活動の支援も行った。今後は地域貢献も積極的に行うことになった



6月



学校周辺の草刈り

例年夏休みにPTA奉仕作業があり草刈りを行うが、梅雨時期に草が伸びて通学に支障があるということから、今年度から学校周辺の草刈りをすることにした。有志ではあるが、秋にも同様に行い、学校の環境保全を継続して行うことにした。



「どろんこフェスタ」に参加

近隣地区の要請で、その地域の行事に参加した。参加者が少ないとのことで、会員が積極的にたくさん参加した。どろんこバレーやどろんこ競争に参加し、行事を盛り上げた。親子で参加して楽しむ姿が多く見られた。他の地域を知ることが、自分の地域をふり返る機会になると感じた。



7月

浅江小おやじの会
今年も「そーめん流し」をやります!

浅江小おやじの会では、奉仕作業や学校行事支援の他、子ども達のために楽しいイベントを行っています。今回は下記のとおり「そーめん流し」を行います。たくさんのお参加をお待ちしています。また、「浅江小おやじの会」の新規会員も募集しています。子ども達と楽しい思い出作りをしてみませんか?
つきましては、準備の都合上、7月10日(金)までに申し込みください。

期日: 7月18日(土)
会場: 浅江小学校 ビオトープ前
会費: 250円(1人分)
内容: 11:30~受付開始
11:45~そーめん流し
13:30 終了

各自でマイはし・飲み物をご準備ください。
参加申込書は、切り取って学籍担任に提出してください。
返書については、当日郵送します。

参加申込書 7月10日(金)まで

「そーめん流し」に参加します。(幼児さん数組、名前を記入ください。)

年 組 児童名())
年 組 児童名())
年 組 児童名())

保護者名())
保護者名())
保護者名())

※連絡先())

合計 人

☆「浅江小おやじの会」に入会希望の方はOをつけてください。→()

巨大「そーめん流し」機が出現!?



「そーめん流し」

恒例になった行事で、昨年度を超える200名の参加希望があった。残念ながら台風のため中止になったが、事前に大きな竹をみんなで取りに行った。中止になったが、これらの竹は、校区内の保育園で活用されることになった。

大規模な「そーめん流し」はなかなかできる体験でないのので、口コミで年々参加者が増えている。今後内容や運営の仕方をよく考えない大人数の対応ができないと感じた。

また、体験活動として竹で器や箸を作ることも計画していた。親子で参加し、楽しい思い出づくりができればと考えている。

8月

浅江小おやじの会
きもだめし

浅江小おやじの会では、下記のとおり「きもだめし」を行います。夜間の学校を、及第加学舎、せんとらや、小車舎、引車舎、おやじの会、保護者以外参加不可です。お申し込みは、7月17日(金)までにお願いします。

期日: 7月31日(金)
会場: 浅江小学校
集合場所: 体育館 ※上ぐつ持参
会費: 200円
内容: 19:00~受付開始
19:30~ 開始
21:00~ 終了

参加申込書 7月17日(金)まで

「きもだめし」に参加します。

年 組 児童名())
年 組 児童名())
年 組 児童名())

保護者名())
保護者名())
保護者名())

※連絡先())

※学年コース・夏休みコースがあります。もちろん保護者も参加できます。

参加申込書は、切り取って学籍担任に提出してください。



「きもだめし」

これも恒例になった行事で、昨年度を超える260名の参加があった。校舎の中をお化け屋敷に見立てて行う催しである。

低学年と高学年に分けてコースを設定した。事前にそれぞれのエリアの担当を決めて、オリジナルのお化けにチャレンジした。

大がかりであるために、教職員も多く協力してもらった。子ども達は大喜びで、保護者にも好評であった。

反省会では、いろいろなアイデアが出たので、ぜひ来年度に生かしていきたいと考えている。



「サンドアート」に参加

地域の恒例の行事に参加した。海岸の砂で作品を作る催しであった。実行委員長がデザインを考え、ご当地キャラクターを作成した。前半は思っていたように作れなくてみんな焦っていたが、一致団結してなんとか仕上げることができた。暑さに負けずにがんばり、さらに会員の親睦を深めることができた。見事大人の部で優勝した。

今年度は、雨で中止をなつたが、毎年夏休みの終わりに、CSコーディネーターが運営する活動センターで会員親子の親睦会を開いている。子どもや母親の交流の場にもなっている。行事等で母親の支援も多くなっている。



10月



地域の運動会の支援

前日準備や後片付けを行った。暑いのでミニゼリーを凍らして、「ゼリーつかみ取り」の店を開いた。子ども達にとっても好評であったという間に売り切れた。安い価格設定だったので、収益はわずかだったが、子ども達も喜ぶ姿を見てとても満足した活動であった。



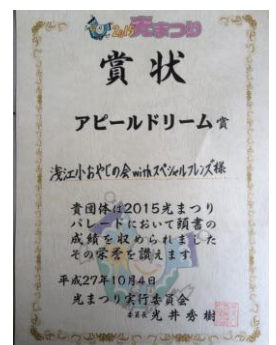
市民祭「パレード」参加

地域の行事をさらに盛り上げようと参加した。ダンスの練習を重ねてみんなで心と気持ちを合わせて本番に臨んだ。初参加で総合2位の成績であった。



おやじ対抗綱引き大会

市民祭りと同時開催で行った。今年度は、浅江おやじの会が運営責任者として大会を進行した。市内のおやじの会活性化のために浅江を中心として盛り上げていきたいと思っている。





「漢字検定」の運営支援

学校で年3回「漢字検定」を行っている。延べ200人近く受験をする。受付や試験監督の支援を行っている。おやじの会の会員や家族の受験も見られるようになった。地域の方にも受験が広まるように呼びかけていきたい。



学校周辺の清掃活動

光市役所地域づくり推進課に申請して環境美化活動の団体に登録した。定期的に学校敷地や周辺の清掃活動を行っている。地域の方からとてもきれいになったという声が届き、会員の励みとなった。



11月



学校バザーに出店

学校バザーに毎年出店している。今年はフランクフルト、ポップコーン、アメのつかみ取りにチャレンジした。特に子ども参加型のアメのつかみ取りは、大人気でバザーを盛り上げた。あまりのサービスの良さで赤字であったが、やりがいを感じた時間であった。

収益は、学校バザーに寄付した。バザー券の販売はPTAにお願いし、テント設営はおやじの会が行い、お互いができることを協力して行った。

12月



イルミネーション

昨年度より学校玄関にイルミネーションを飾っている。18時から20時までみんなで交替しながら管理している。親子で見に訪れる姿も多く見られ、冬の恒例行事になっている。子ども達の喜ぶ姿を見てやりがいを感じた。



門松作り

お正月を飾る「門松」をコーディネーターの指導で作製した。会員の親子も参加し、ミニ門松や豚汁を作って楽しんだ。今回は、会員限定で行ったが、参加者を広げていきたいと考えている。

2月



ペンキ塗り

毎年この時期に、敷地内の駐車場や駐車禁止、下靴ライン、自転車練習コース等のラインを引き直している。たいへん時間のかかる作業であるが、みんなで協力して仕上げることができた。消えるペースも早いので、年2回行う必要がある。

5 成果と課題

「子ども達の喜ぶ姿が見られてよかった」という会員の声が多くなったことを実感している。ボランティア団体としての位置づけではあるが、時にはPTAとして、地域住民として、父親としての役割をこなしている。今後も活動を活性化させるためには「ふり返り」が必要である。それらを次にまとめる。

(1) 成果

- 学校やPTAの活動ではなかなか対応できないことが多くできた。
 - ・春や秋の草刈り ※PTAは夏に奉仕作業を行う。
 - ・職人の会員の手で校舎の修繕ができた。

- 会員の親睦を深めることができた。
 - ・父親同士のつながりが強化された。
 - ・「楽しい」「おもしろい」を子どもだけでなく会員も共有できた。
- 地域からの信頼を得ることができた。
 - ・地域行事の準備や手伝いも積極的に行うことで地域の方と多く関わることができた。
- 楽しい企画が子ども達の心に響き、学校が楽しくなったという声を聞いた。
 - ・「こんなことも学校でできるの？」という声が、子ども達のわくわく感を高めたとようだ。学校の枠を越えた活動が、学校をしっかりと見る機会になっていると感じる。

(2) 課題

- 活動が増えたため、活動時間も大きく増加した。
 - ・土日の仕事も多く、なかなか参加できない会員も多い。
 - ・参加できる一部の会員の負担にもなっている。
- 会員数がなかなか増えない。
 - ・親睦は深くなるが、他から見ると会に入りにくいという声もある。
 - ・活動回数が多くなり、続けて参加することが難しくなった。
 - ・「やりがい」を感じてもらえる宣伝が必要である。
- 地域とPTAとの協働がうまく進まない。
 - ・今年度は地域行事の準備や片付けに参加したが、できれば企画、運営にも少しずつ参加したい。
 - ・PTA活動でも準備や片付け等の支援を行ってきたが、PTA活動の一部を荷担することは望ましくないので、しっかりと協議して、お互いのメリットになる相互協力を進めていきたい。
- 継続できる活動計画を立てる。
 - ・これまでいろいろな活動にチャレンジしてきたが、きちんとふり返しをして次年度につなげていくことが大切であり、「スクラップ アンド ビルド」も積極的に進めていく。

「浅江小おやじの会」として様々な活動を通して、学校や子ども達と関わってきた。これまで学校のことで知らなかったことも多く知ることができ、また保護者として支援できることがたくさんあることも知ることができた。地域の行事にも積極的に参加したことで「浅江小おやじの会」の知名度がアップしたように感じる。その分、行事への協力依頼も来るようになり、活動量が多くなったことも課題となっている。

今後もしっかりと成果と課題をみんなで認識しながら、「浅江小おやじの会」として、何ができるのかをしっかりと考えていきながら前に進んで行きたいと考えている。